

# ブレイクスルーポイント① 契約フレームワーク：G-Cloud (UKの取組み例)

## G-Cloud: 英国政府が運営する、政府機関向けクラウド・コンピューティング・サービスの調達フレームワーク

- 現在、細分化されたクラウドサービスが全体で約25,000件登録されている。
- Framework Agreementにおいて、基本的なTerms&Condition（契約事項）をあらかじめカバーしているため、手続きの簡素化や契約の迅速化等、発注者の契約手続きの簡素化の効果がみられる。
- Digital Market Placeは直近1年では金額ベースで年間約2.01billionポンドの売り上げを記録。（1年前と比較し約41%の利用増）
- SME(中小企業)が総売り上げの約43%を占める状況となり、官公庁IT市場の構造変革にも影響。

Crown Commercial Service が提供するダッシュボード



### The G-Cloud 10 framework： Digital Market Place

	G-Cloud FrameworkにおけるDefinition	定められているサービス種類(一部省略)	登録サービス数
クラウドホスティング	ソフトウェアの稼働や管理を支援するプラットフォーム、演算や保存、ネットワークの資源を割り当てるプラットフォーム	バックアップ・DR、コンピューティング・アプリケーションホスティング、コンテナサービス、データベース、ロードバランシング、ネットワーク、DDOSプロテクション、ファイアウォール、ストレージ、等	3,087件 (Microsoft関係: 426件)
クラウドソフトウェア	クラウド上にホストされ、インターネット経由で提供されるアプリケーションサービス	財務会計、BI分析、アプリセキュリティ、コラボレーション、CRM、ヘルスケア、HR、マーケティング、コミュニケーション、開発ツール、等	7,851件 (Microsoft関係: 1,081件)
クラウドサポート	クラウドソフトウェア・クラウドホスティングのセットアップや保存を支援するサービス	計画、移行、トレーニング、セキュリティサービス、品質管理とテスト、サポート	13,582件 (Microsoft関係: 1,893件)

# ブレークスルーポイント② Data Classification (UKの取組み例)

UK Cabinet Office 発行： Government Security Classifications, Version 1.1, 2018年5月

このポリシーは、それぞれの行政機関が情報資産(Information Assets)が如何に分類すべきかを記述したものである。なお、クラシフィケーションを行うことについては、次のように定義されている。

- ・情報資産が適切に守られること。
- ・情報の利活用が効果的に促進されること。
- ・国際的な合意や関連する法律に適合すること。

## UK政府機関データクラシフィケーション3つの分類

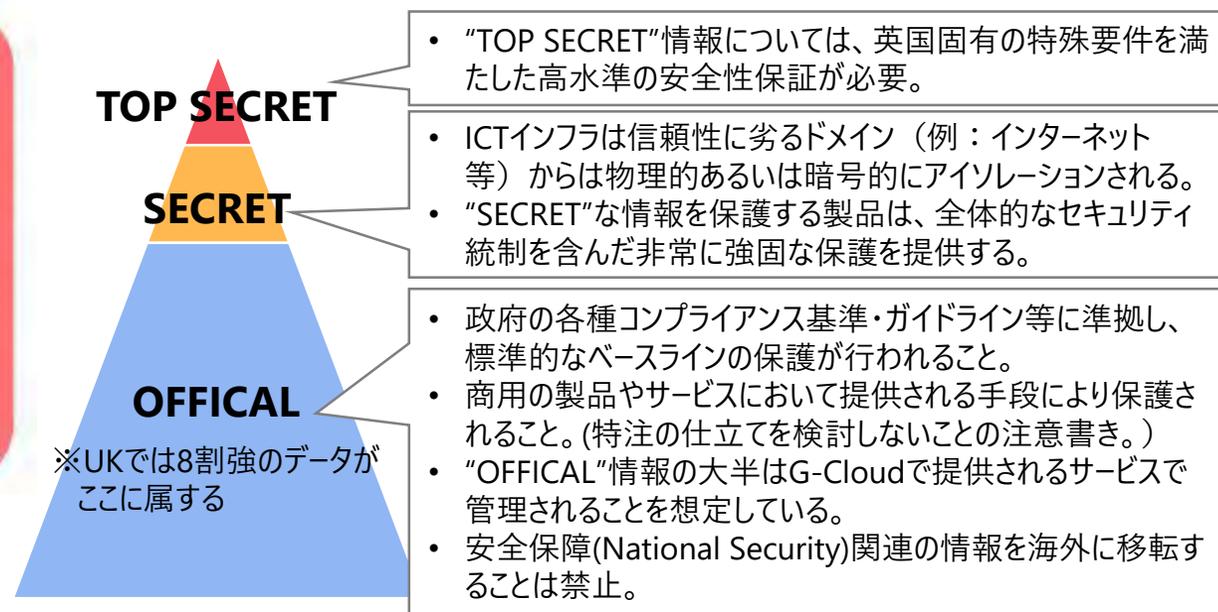


政府機関の日常業務で利用するデータ。医療データ等個人情報を含む。

国民の自由や生命に関わる類の情報、軍事タスクに影響を及ぼす類の情報。

国益や国体に深刻な影響を及ぼす情報。

## 3つの分類に係る技術的統制のサマリ



# ブレークスルーポイント③ The Internet is OK (UKの取組み例)

## The Internet is "OK"

英国内閣府のGovernment Digital Serviceのブログ記事で記載されたコラム。



When different parts of the public sector share services and exchange data it is important that we can rely on the basic security of each other's technology, and that the jobs will maintain its integrity as it moves around. It is an important part of ensuring that there's a clear layer of trust between everyone involved in the internet.

### ■ "The Internet is OK" 主な記載内容

- 公的機関が行う仕事の大多数について、パブリックインターネットを使えばよい。ということ、Technology Leaders Network (Government Digital Service設置) において全会一致で確認。
- 『我々は現在PSN(Public Services Network)から離れる旅の途中にいる。』
- もちろん、これはすぐさま置き換わるものではなく、現在はPSNを経由したサービスを必要とする行政機関もある。

【補足】 "Comment"欄においては以下のような本音ベースの意見交換もみられる。

"PSN (Public Services Network) は、TLSやVPSに少しの付加価値を追加したものに過ぎないが、利用者に求められる以上に物事全般をどんどん複雑にしたり、より高額な費用が掛かるものとなっている。"

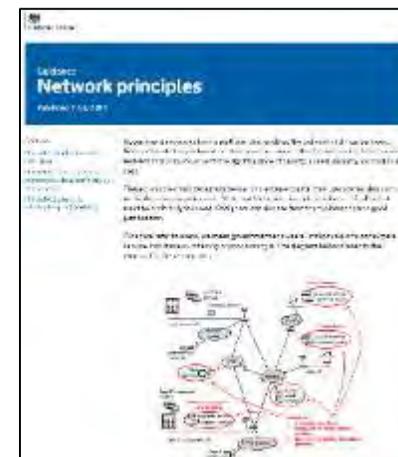
"the Internet is OK"を補足する形で、セキュリティ強化やその対策に関連していくつかのドキュメントが整備・公開されている。

## ① Network Principles

利用者の利便性(User Experience)を実現するための政府機関ネットワーク検討の原則を公開。

3つの原則

1. 利用者のニーズを理解し検討を進めること。
2. ネットワークに頼らず（依存せず）、データを保護するサービスを利用すること。
3. 相互利用や柔軟性を意識した設計とすること。



## ② Securing Government email

インターネット接続環境における公共機関の安全な電子メールの手引き・ガイドライン

- 通信時に暗号化すること (TLS1.2以上)
- ドメインベースのメッセージ認証を行うこと
- アディショナルな暗号化措置を実施すること

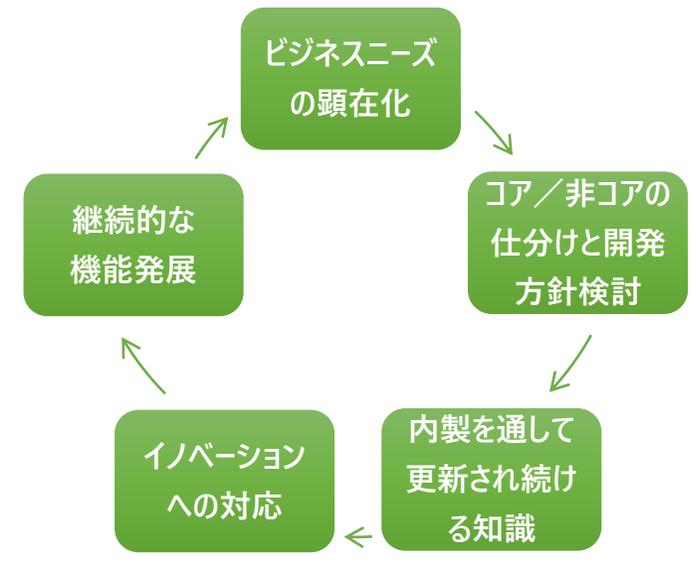


# ブレークスルーポイント④ 新たな開発・運用モデルとアジリティ



## DevOpsの概念

- 更新し続ける
- 部分展開やトライアンドエラー
- 反復し改善・革新する
- 開発とオペレーションの融合



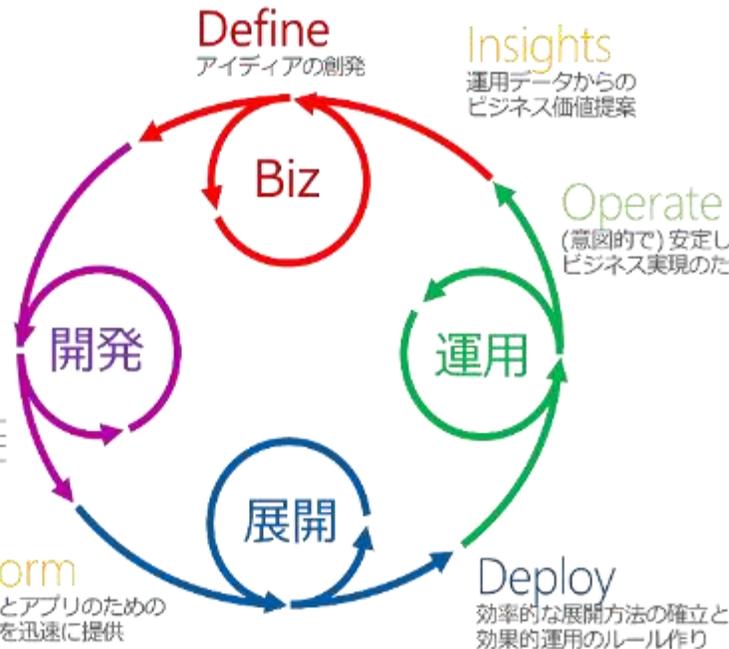
**日本の政府ITの現在**  
イノベーションが起こり難い状態

- 5年の一度の更新サイクルと外注文化がもたらす、テクノロジートレンドに追従する姿勢・ナレッジの欠如
- イノベーションに貢献できないIT部門と高度専門人材不足

**Business**  
Marketing (仮説/検証)  
ビジネス価値の可視化

**Develop**  
アイデアを迅速に動くソフトウェアに

**Platform**  
ビジネスとアプリのための実行基盤を迅速に提供



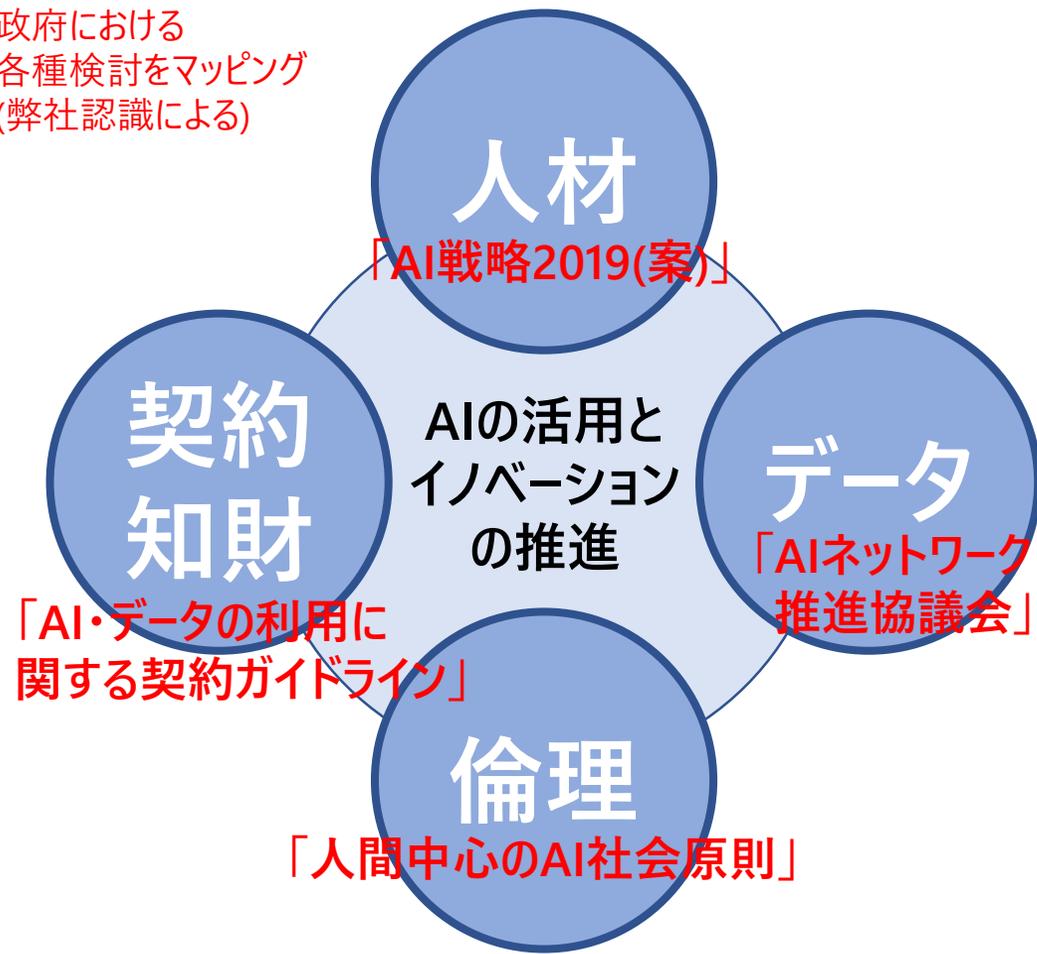
**目指す姿・イメージ**  
常にイノベーションを起こせる状態

- コア領域に集中し人材投入、内製化・イノベーションの反復を図る
- 非コア領域は、既存サービスを活用し省力化
- 高度人材の内在と内部学習の好循環

# ブレークスルーポイント⑤ AIを活用したイノベーションの推進

## AIによるイノベーション推進のポイント ～研究・R&Dから急速にコモディティ化が進むAI～

政府における  
各種検討をマッピング  
(弊社認識による)



## Microsoftの取組み

～誰でも使えるAIに向けて～

### ✓ AI倫理についてMicrosoftのコミットメント

AIをはじめとした最新のテクノロジーの開発にあたり、6つの倫理基準を遵守する。  
公平性, 信頼性と安全性, プライバシーとセキュリティ, 多様性, 透明性, 説明責任



Microsoft  
最高法務責任者  
Brad Smith

### ✓ AIビジネススクールの開講

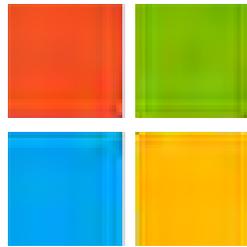
AI戦略立案において、経営陣やビジネスリーダーに求められるナレッジやアプローチについて、戦略や文化論、そして、倫理にフォーカスしたビジネススクール講座を開講

### ✓ AIデータ流通促進の支援

AIのデータ基盤整備や活用推進に向けた、日本国内各企業やコンソーシアムなどの活動を支援。マイクロソフトはプラットフォームとしてではなく、技術提供者として活動。

# ご提言: デジタルガバメント推進のブレークスルーポイント

- 1. データ分類の体系整備とインターネット接続への転換**
  - ✓ AI社会, ユビキタス・コネクティッド社会への早期対応と推進強化
  - ✓ ユーザ利便性の高いICTへの転換
- 2. 官公庁フレームワーク契約の整備**
  - ✓ 官民双方の契約手続きの簡素化
  - ✓ 必要な時に必要なものだけすぐに調達/利用できる仕組み
- 3. DevOpsへの取組み強化**
  - ✓ 進化し続けるIT技術、セキュリティ脅威への継続的な対応  
(技術変革への追従からリードするIT活用へ)
- 4. メールアドレスによる認証**
  - ✓ マイナンバー等発行済みの統一番号体系とメールアドレスの連携により、デジタルサービスの利便性を向上
- 5. モダンワークスタイルの実践**
  - ✓ 世界をリードする働き方を実践することにより、求められるITサービス、イノベーションを体現



# Microsoft

- 本書に記載した情報は、本書各項目に関する発行日現在の Microsoft の見解を表明するものです。Microsoftは絶えず変化する市場に対応しなければならないため、ここに記載した情報に対していかなる責務を負うものではなく、提示された情報の信憑性については保証できません。
- 本書は情報提供のみを目的としています。Microsoft は、明示的または暗示的を問わず、本書にいかなる保証も与えるものではありません。
- すべての当該著作権法を遵守することはお客様の責務です。Microsoftの書面による明確な許可なく、本書の如何なる部分についても、転載や検索システムへの格納または挿入を行うことは、どのような形式または手段（電子的、機械的、複写、レコーディング、その他）、および目的であっても禁じられています。これらは著作権保護された権利を制限するものではありません。
- Microsoftは、本書の内容を保護する特許、特許出願書、商標、著作権、またはその他の知的財産権を保有する場合があります。Microsoftから書面によるライセンス契約が明確に供給される場合を除いて、本書の提供はこれらの特許、商標、著作権、またはその他の知的財産へのライセンスを与えるものではありません。

© 2019 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft, Windows, その他本文中に登場した各製品名は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標です。